



Home / 製品情報 / ミレーナ / 製品基本情報 / 製品Q&A

ミレーナ
ミレーナポータル
製品基本情報
製品Q&A

製品Q&A

- ▼ 製剤に関する項目
- ▼ 治療
- ▼ 薬効薬理・薬物動態
- ▼ 安全性（特殊患者を含む）
- ▼ その他

製剤に関する項目

Q：ミレーナに使われている材料を教えてください



A：
 ミレーナとその除去糸には本体にポリジメチルシロキサン（シリコン）とケイ素、T字部分にはポリエチレン、硫酸バリウム、除去糸にはポリエチレン、酸化鉄が含まれます。

PP-MIR-JP-0433-21-10

治療

Q：ミレーナの効能又は効果を教えてください



A：

「避妊」、「過多月経」、「月経困難症」です。

◆◆参考文献◆◆

1) ミレーナ52mg電子添文 2023年6月改訂（第2版）

PP-MIR-JP-0433-21-10

Q：ミレーナの用法及び用量を教えてください



Q：ミレーナはどのくらいの期間使用できますか？



Q：ミレーナはいつ装着できますか？



薬効薬理・薬物動態

Q：ミレーナの作用機序を教えてください



A：

〈避妊〉本剤から放出されたレボノルゲストレルは子宮内で局所的なプロゲステロン作用を示し、子宮内膜における高濃度のレボノルゲストレルは子宮腺の萎縮や間質の脱落膜化などの形態変化をもたらします。本剤の避妊効果は主として子宮内膜への局所作用によりますが、局所的な異物反応も寄与しています。また、レボノルゲストレルは子宮頸管粘液の粘性を高めて精子の通過を阻止し、一部の女性では排卵が抑制されます。

〈過多月経、月経困難症〉子宮内膜への形態学的変化をもたらす作用により、月経血量を減少させるとともに、月経困難症の症状を軽減させます。

◆◆参考文献◆◆

1) ミレーナ52mg電子添文 2023年6月改訂（第2版）

PP-MIR-JP-0433-21-10

Q: ミレーナは食事の影響を受けますか？



安全性（特殊患者を含む）

Q: ミレーナの肝機能障害患者さんへの投与について教えてください



A:

重篤な肝障害や、肝腫瘍のある患者さんには投与できません（禁忌）¹⁾。
ミレーナに含まれる成分は肝臓で代謝されるため、肝臓への負担が増加したり、症状が悪化したりする可能性があります。よって、重篤な肝障害や肝腫瘍のある患者さんには投与しないでください。また、軽度から中等度の肝障害であっても、肝臓への負担が増加する可能性がありますので、リスクとベネフィットを考慮して慎重に投与をご検討下さい。

◆◆参考文献◆◆

1) ミレーナ52mg電子添文 2023年6月改訂（第2版）

PP-MIR-JP-0433-21-10

Q: ミレーナの腎機能障害患者さんへの投与について教えてください



Q: ミレーナは妊婦・授乳婦に投与できますか？



Q: ミレーナと併用を避けるべき食べ物やサプリメントはありますか？



Q: ミレーナは手術前に休薬する必要はありますか？



その他

Q: ミレーナは海外で販売されていますか？



Q: ミレーナを装着している時に病院で画像検査を受けられますか？



Q: 出産後ではミレーナをいつから装着できますか？



Q: 未経産婦に使用できますか？



A:

使用できます。ただし、銅付加IUDにおいて経産婦の装着と比較して未経産婦では、脱出、妊娠、出血・疼痛、感染症、迷走神経反射の頻度が高いとの報告があるため、ミレーナの電子添文には未経産婦に対して第一選択の避妊法としないよう記載されています。

◆◆参考文献◆◆

1) ミレーナ52mg電子添文 2023年6月改訂（第2版）

PP-MIR-JP-0433-21-10

[□ バイエル薬品株式会社について](#)

[□ 一般向け利用規約](#)

[サイトマップ](#)

[□ Imprint](#)

[□ 個人情報保護方針](#)

[医療関係者向け利用規約](#)

[□ 副作用報告](#)

[cookie-policy](#)

Copyright © Bayer Yakuhin, Ltd

PP-GEN-JP-0410-14-02,

PP-MIR-JP-0433-21-10